

記者発表				
月/日 (曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤルイン)	発表者名 (担当名)	その他配布先
3/25 (金) 14:00	県立考古博物館 企画広報課	(079)437-5589	事業部長 高瀬 一嘉 (学芸課長 池田征弘)	—

大中遺跡発見 60 周年記念春季特別展「弥生集落転生—大中遺跡とその時代—」の開催について

兵庫県立考古博物館では、令和4年4月23日(土)から7月3日(日)の会期で、春季特別展「弥生集落転生—大中遺跡とその時代—」を開催します。

竪穴住居が数多く見つかるとともに国の史跡に指定されている大中遺跡は、弥生時代から古墳時代へ社会が移りゆく時期に突如として大きな集落に成長します。この頃になると、東播磨ではそれまでの集落から様相が変化し、弥生のムラが生まれ変わります。竪穴住居や中国鏡、鉄器などの最新の研究成果から、発見 60 周年をむかえる大中遺跡と弥生集落の姿を紹介します。

【展覧会の概要】

会 期 令和4年4月23日(土)～7月3日(日)

時 間 午前9時30分～午後6時(有料ゾーンへの入場は午後5時30分まで)

会 場 兵庫県立考古博物館特別展示室

休館日 月曜日(5月2日は開館)

主 催 兵庫県立考古博物館

後 援 兵庫県 兵庫県教育委員会 播磨町 NHK 神戸放送局 サンテレビジョン
ラジオ関西

協 力 (公財)兵庫県まちづくり技術センター 山陽電気鉄道株式会社
ひょうご考古楽倶楽部

観覧料

大 人	大学生	高校生以下
500 (400) 円	400 (300) 円	無 料

※()は20名以上の団体料金

70歳以上の方は大人料金の半額

障害者手帳(ミライロID)提示で本人は75%減免、介助者1名は無料

【展示構成】

- ① 弥生集落のイメージ
- ② 生まれ変わる弥生集落 —東播磨の弥生時代後期から終末期—
- ③ 大中遺跡の盛行
 - 〈トピック1〉大中遺跡の鏡と破鏡・穿孔(せんこう)鏡
 - 〈トピック2〉大中遺跡と鉄の広がり
- ④ 大中遺跡とその時代—弥生時代と古墳時代のはざままで—

【おすすめの展示品】

① 大中遺跡出土鏡（播磨町郷土資料館蔵・画像提供）

大中遺跡で発見された中国からもたらされた鏡の破片です。5cm程度の小さな破片ですが、孔があげられていて割れ面が擦り減っていることから、割れた後もペンダントのようにして大切に使われていたことがわかります。



② 久田谷銅鐸（国・文化庁保有、豊岡市歴史博物館画像提供）

久田谷（くただに）遺跡（豊岡市日高町）で発見された銅鐸の破片です。117点もの破片がまとめて埋められていました。もとは1mを超える大型の銅鐸でしたが、粉々に砕かれた状態で発見されました。



③ 大中遺跡出土鉄製品（当館・播磨町郷土資料館蔵）

大中遺跡の調査研究を進めるなかで、新たに短剣や鋤、ヤリガンナ、板状の鉄製品などが発見されました。弥生時代の集落から多様な鉄製品が見つかる例は多くなく、大中遺跡が大きなムラであったことがうかがえます。また、出土した全長10cmの短剣は、墓以外で発見された貴重な例です。



◆講演会◆ 講堂にて 定員72人（事前予約が必要）参加費無料
時間：13：30～15：00

- 4月30日（土） 大中遺跡の過去と今
- 5月14日（土） 大中遺跡の竪穴住居を探る
- 6月18日（土） 弥生時代について
- 6月25日（土） 石・鉄・銅の武器－弥生時代の兵庫－
- 7月2日（土） 弥生時代の姫路－最近の発掘調査成果から－

◆記念シンポジウム◆ 講堂にて 定員72人（事前予約が必要）参加費無料
時間：13：00～16：30

- 6月4日（土） 「大中遺跡とその時代－東播磨沿岸部の弥生集落－」

◆ゴールデンウィークイベント◆

大中遺跡クイズラリー

日時：5月3日（火・祝）～5日（木・祝） 13：00～15：30

◆関連イベント◆（事前予約が必要）

- 遺跡ウォーク「赤穂市・有年の遺跡散策」
日時：6月11日（土） 10：30～15：30
- 古代体験講座「ミニチュア竪穴住居を建てよう」
日時：6月26日（日） 10：00～12：00

*講演会・記念シンポジウム・関連イベントの事前予約の方法・予約期間などについては考古博物館のホームページをご覧ください。

特別展の詳細については別添のチラシを参照してください。